

音楽科授業案

日時 平成24年10月19日(金)

生徒 2年C組 男子19名 女子19名 計38名

授業場 音楽室

授業者 齊藤貴文

1 題材名 「能の世界」(表現・鑑賞領域)

題材：『羽衣』キリから「東遊の数々に～」の部分

〔共通事項〕ア 音色：謡の声 旋律：楽曲の旋律 速度：速度の変化 強弱：強弱の変化

2 題材について

(1) 題材観

J-POPやK-POPに代表されるソフトでノリのよいポップミュージックが世界を駆け巡り、私たちはそれを「わかりやすい」音楽として味わっている。

よりよい「わかりやすさ」を求める聴衆のニーズに応えるために、次から次へと新たな楽曲が提供されているが、私たちが耳にする音楽の多くは、その「わかりやすさ」の理由、つまり〈音楽のよさ〉とは何かを考える間もなく、忘れ去られてしまうものも少なくないのが現状である。しかし、J.S.BachやW.A.Mozartをはじめとする何百年も残っている楽曲の多くは必ずしもノリのよさ、わかりやすさが重視されているわけではない。いわゆる素晴らしい楽曲として現在まで伝え続けられている楽曲にはわけ(=よさ)があるはずであり、私たちが後世に伝えるためにも、そのわけを知ることは重要なことだと捉えている。

学習指導要領において、伝統音楽の指導の重要性だけでなく、我が国の伝統的な歌唱の充実が求められ、教科書においても従前の歌舞伎に加え、能や文楽などが取り上げられた。

能は室町時代に観阿弥と世阿弥によって完成された日本の伝統的な音楽のうちのひとつであり、〈謡・舞・囃子〉の構成要素と、〈面・装束・作り物・小道具類〉の各道具を有機的に組み合わせ、ひとつのストーリーの元に劇的統一性を持って舞台上に展開される現存最古の総合芸術である。2001年ユネスコの世界無形遺産として宣言されており、その芸術性の高さと価値が証明されていることから、私たち日本国民にとって能を学習することは大変意義深いことである。

中心題材である『羽衣』は日本各地に見られる「羽衣伝説」がもととなっており、謡は文語体が主体となっているが、ストーリー性があり、わかりやすい題材である。本題材では、能の様式について学び、音楽の中心となる謡を体験する活動を行う過程において、能の世界を体感し、自己の世界を広げることや自他の感覚を追体験し批評しあう活動を通して能のよさを考えるとともに、音楽の表現の幅の広さを実感することをねらいとするものである。

また、本実践においては地域との連携を視野に入れることから宝生流を中心としている。楽譜においても生徒の実態を考慮して、謡本そのまま使用するのではなく、簡易版を作成し視聴覚機器を用い鑑賞することがより深い鑑賞につながると判断した。

(2) 生徒観



(3) 指導観

上記のことから、生徒が我が国の伝統的な音楽、特に「能」のよさを味わっていくことを意図し、「能の世界」という題材を設定する。本題材では、能の視聴を通して目に見える、あるいは聞こえる部分のよさと目に見えない部分のよさをわけて考える活動を行い、その中で現れる専門的語彙と経験的語彙を提示していくことで、能の理解を深めていきたい。

また、視聴を通して他者の視点を追体験する活動を行い批評し合う活動を採用し、他者との対話をするなかで能の鑑賞の仕方の理解や視点の広がりにつながることを実感して欲しいと考える。

※研究の視点（本実践に焦点化した研究に関わる手だて…教科論考参照）

①音楽科における生徒の認知に働きかける手だて **専門的語彙と経験的語彙の提示** …A

図3. 本題材における専門的語彙と経験的語彙

◆本実践における専門的語彙

シテ・地謡・謡・囃子ノリ・発声・リズム・拍子・舞・間・速度・強弱 など

◆本実践における経験的語彙の例

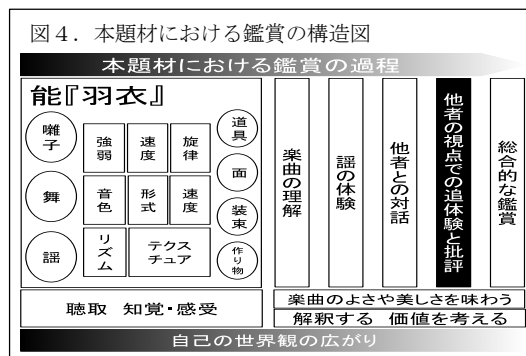
色彩豊かな、うつろな、怒った、安定した、羽ばたくような、眺めているような など

教科主題の「感覚の言語化」を行うためには語彙の獲得は必要不可欠である。図3は本実践における専門的語彙・および経験的語彙の例であるが、能という音楽を聴くに当たりそのよさを感じるため、あるいは語るために知らなければならない独特の語彙と、感じたものを的確に形にするために必要な語彙がある。生徒たちのこれまでの生活環境や音楽環境はさまざまであるが、その環境要因の幅を専門的語彙と経験的語彙を提示することで少なくし、それを支えとすることで本題材のよさを考えるための手だてとなると考えた。

②音楽科における題材構成・授業展開の手だて **他者の視点での追体験し、その視点について批評する** …B

次掲図は本題材における鑑賞の構造図であるが、本題材では、能『羽衣』からキリ「東遊びの数々に～」の部分の視聴し、そのよさを批評し合った後に、他者の視点に自己を置き、追体験する活動を採用する。追体験をすることにより、他者の世界に飛び込み、そのよさを吟味し、納得することができれば楽曲のよさ

をさらに獲得することが期待でき、納得することができなかつたとしても聴き方の視点が増えることにつながると考えた。鑑賞は本来個人的なものであるが、自己の世界に閉じてしまつては広がりにつながらない。そこで、他者の世界を垣間見ることによって音楽鑑賞の広がりにつながれることを期待している。活動を通して、自己に閉じてしまわず、他者との関わりが自己の世界を広げることに基づき、そのよさを味わって欲しいと願っている。



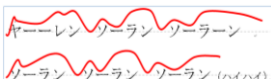


3 題材の目標

能に関心を持ち、能の音楽の特徴を知覚・感受しながら、創意工夫して謡を音楽表現する活動や、解釈したり価値を考えたりして能を鑑賞する活動を通して、能のよさや美しさを味わうことができる。

4 評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
㊦ 謡の音色、節回し、強弱と曲想との関わり、謡の特徴と物語や演出などとの関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ㊧ 謡いにふさわしい声や言葉の特性に感心をもち、それらを生かして謡う学習に主体的に取り組もうとしている。	㊦ 謡の声の音色、リズム（拍子）、旋律（吟）、を知覚・感受しながら、発声や言葉の特性を生かした謡い方を工夫し。どのように謡うかについて思いや意図をもっている。	㊦ 謡い方にふさわしい声や言葉の特性を生かした謡い方をするために必要な、発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けて謡っている。	㊦ 謡の音色、節回し、強弱、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解している。 ㊧ 謡の特徴を物語や演出などと関連付けて理解し、根拠をもって批評して、能の謡の音楽の良さや美しさを味わって聴いている。

5 題材指導計画

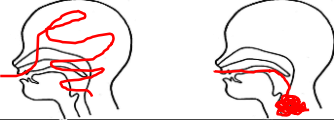

時	学習事項	主な学習活動・ 手だて	評価			
			関	創	技	鑑
関連題材①	『郷土の民謡の魅力』 ○「こきりこ節」や「ソーラン節」を通して、民謡の特徴、表現の豊かさを感じ取ろう。	<ul style="list-style-type: none"> こぶしや産字などに着目して、民謡の特徴を感じ取る。 『こきりこ節』や『ソーラン節』を通して拍節的なリズムの取り方、発声法や声の音色など民謡の特徴を探っていく。 				
関連題材②	『日本の総合芸術-KABUKI-』 ○長唄の音色や拍の現れ方、楽器との合わせ方に着目し聴き取ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 長唄の模範演奏を聞いて、声の特徴や旋律の動きを感じ取る。 『勸進帳』を鑑賞し、よさや素晴らしさを味わい、自分なりの根拠を持って批評する。 				
1	○能『羽衣』のキリの部分を視聴し、能の特徴（謡・舞・囃子の構成要素と、面・装束・作り物・小道具類）を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 能『羽衣』の一部分を視聴し、能の音楽の特徴について知覚・感受したこと、音楽以外の特徴について交流する。 事実から浮かび上がる能の特徴と視聴して感じ取った感覚を交流する。…手だてA 	㊦			㊦
2	○歴史と舞台上のきまりについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の概略と舞台上のきまりを確認し、能の様式を理解する。 	㊦			㊦
3	○グレゴリオ聖歌と謡を比べ声の特徴をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> 謡を実際に体験することで謡の特徴を理解することができる。 	㊧	㊦	㊦	
4本時	○能『羽衣』のキリの部分のよさを感じ取ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 能『羽衣』のキリの部分のよさについて語り合い、班員の視点を追体験しお互いに批評し合う。…手だてB 	㊦			㊧
5	○能『羽衣』の鑑賞を通して批評文を書こう。	<ul style="list-style-type: none"> 能『羽衣』のキリの部分を鑑賞し、既習事項と関わらせながら能のよさや美しさについて自分なりにまとめ、味わいながら鑑賞する。 	㊦			㊧

6 本時案

(1) 本時の目標

能「羽衣」のキリの部分を鑑賞し、自分が味わった楽曲のよさや美しさを交流した後に、他者の視点の追体験をすることで、鑑賞の味わい方が広がるとともに、能のよさを味わうことができる。

(2) 本時の展開 (○…発問, △…補助発問, □…指示, 説明)

主な学習活動 (下位目標)	教師の働きかけ・手だて	【評価方法】・備考
<p>1. 能の謡の声の特徴を考え発表することができる。</p> <p>・声の質は硬い ・こもっている ・しぶく ・揺れがある ・力強くしっかりとしている</p>	<p>○能の謡の声の特徴はなんだろう。 △グレゴリオ聖歌と比較してみよう</p> 	<p>【発表】</p>
<p>能「羽衣」のキリの部分のよさをさらに探り、よさをお互いに語り合おう</p>		
<p>2. 「羽衣」のキリの部分を視聴し気づいたことを発表することができる。</p> <p>謡 囃子 (笛 小鼓 大鼓 太鼓) 舞 装束 面 小道具 など ゆったりとしていた 迫力があつた 優雅な感じ など</p>	<p>□「羽衣」のキリの部分を視聴し、特徴をおさえよう。 ○視聴してどんな「こと・もの・感覚」に気づきましたか。…A △音に関わって気づいたことはないかな △音以外で気づいたことはないかな △どんな感じがしましたか</p>	<p>映像資料：能「羽衣」</p>  <p>【発表】</p>
<p>3. 「羽衣」のキリの部分を視聴し、「能」のよさをWSにまとめることができる。</p> <p>・謡と囃子、舞の一体感を感じた ・かけ声が音楽を印象深くしている ・囃子がだんだんと盛り上がっている</p>	<p>□「羽衣」のキリの部分を視聴し、自分が感じた「能」のよさをWSにまとめよう。</p>	<p>【観察・WS】</p>
<p>4. 交流の仕方や意図を確認して自分の思いや意図を語る活動や聴く活動を行うことができる。</p>	<p>□自分が感じたよさを相手に伝えるように交流しましょう。</p>	<p>【観察】</p>
<p>□班員の視点を追体験し、感じたことを交流しよう…B</p>		
<p>5. 班員の視点を追体験し、批評し合うことができる。</p> <p>・その視点で視聴したら発見があつた ・その視点で視聴したけども、よく分からなかった ・確かにその部分もいい気がする</p>	<p>□自分以外の視点をひとつ選び、そのよさに注意しながら視聴し、考えたことを批評し合おう。 △相手の視点に立って聴いたらどんな感じがしましたか。</p>	<p>・批評と批判との相違に触れる</p> <p>【観察】</p>
<p>6. 次時までの課題を把握すると共に、授業の感想をWSに記入することができる。</p>	<p>□次の時間に総合的な鑑賞を行うので、自分の考えを整理しておきましょう。 □今日の授業の振り返りをWSにまとめてみよう。</p>	<p>【観察・WS】</p>

◆交流の約束と手順

〈約束〉

- ・100%受け入れる気持ちで相手の話を聞くこと
- ・班長司会・記述が少ない人から・自由奔放な会話にならないようにする

〈手順〉 だいたい1人5分程度

- ・よさについて語る (1人3分)
- ・話を聞いている人は、WSにメモをとる

